



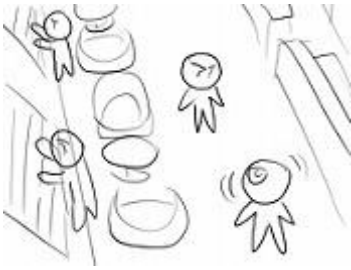


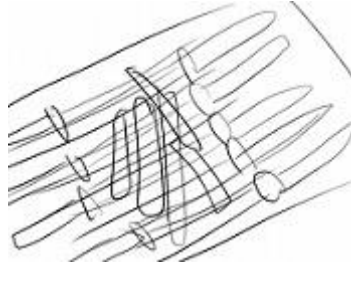
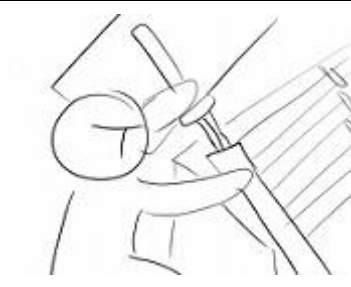



場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
1		玄関先。 お凜様が玄関から出てきて、石畳のど真ん中に仁王立ちし、まっすぐ門の外を見る。 遅れて達次郎が玄関から出てきて、お凜様の横に立つ。	
2		お凜様「敵はたぶん正面から来るじゃろう。裏面にも侵入口はあるが、嚴重な鉄扉を破るよりは玄関を破った方が早い。二階の風呂場を破るには縄か梯子でよじ登らんといけん。やるなら一点突破じゃ」	
3		達次郎「そう思います。鎮守神の戦力は4人、残りは戦闘経験のない堅気衆です。下手に戦力を分散するより、鎮守神を一気に潰す方がいいでしょう」	
4		お凜様「門まで遮蔽物がない。それに横が植え込みで狭い。銃で一斉に撃ち込まれたら避けようがない。備品で盾になりそうなもんを配置したほうがええ」 達次郎「伝えてきます」 達次郎が建物内に駆けていく。	
5		帳場。 若衆達が窓の雨戸を閉めている。 達次郎が入ってきて、キョロキョロする。 達次郎「親分さんは？」 若衆「祭壇部屋に」 達次郎が祭壇部屋に向かう。	

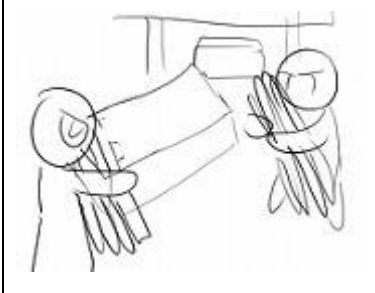
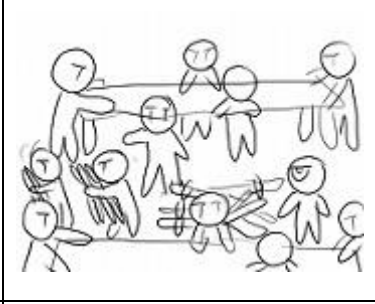
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
6		祭壇部屋。 堅太郎が祭壇の下の奥から大きな箱を引っ張り出す。	
7		堅太郎が箱の紐を解いてふたを開ける。	
8		箱の中には、大量の刀剣と、代紋入りのはちまきとたすきが入っている。	
9		堅太郎が一本の上等な刀を手にとって鞘から抜き、刃を確認する。	
10		堅太郎が祭壇に向けて立つ。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
11		堅太郎「ご先祖様、お力をお貸し下さい。一家の存亡のためとはいえ、この手を血で汚すことになってしまい、申し訳ありません」	
12		堅太郎が深く礼をする。	
13		達次郎が入ってくる。 達次郎「玄関先に遮蔽物になるようなものを置きたいんですが」	
14		堅太郎「食事処のテーブルを横倒しにしましょう。若い衆がやってくれます」	
15		達次郎「使わせてもらいます」 達次郎が出ていこうとする。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
16		堅太郎「あ、これを運ぶの手伝って下さい！」 堅太郎が大量の刀剣等を抱える。 達次郎「よし」 達次郎も刀剣類を抱える。	
17		達次郎と堅太郎が出ていく。	
18		大広間。 達次郎と堅太郎が大量の刀剣類を床に置く。 達次郎「これは？」 堅太郎「先祖伝来の喧嘩道具です。出入りの際はいつもこれを使っていたそうです」 達次郎「封印しっぱなしの方が良かった」	
19		堅太郎が適当な若衆に声かけ。 堅太郎「この道具を皆に配って下さい！ あと、テーブルを玄関先に運んで下さい！」 若衆「はい！」 若衆達が刀剣類を持ち出し、テーブルを運んでいく。	
20		達次郎「帳場の前にも遮蔽物を置きましょう」 堅太郎「事務所の棚が使えます」	

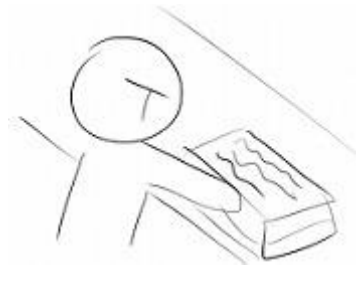
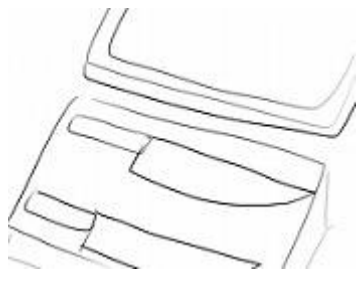
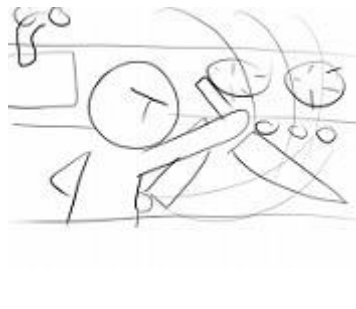


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
21		堅太郎が適当な若衆に声かけ。 堅太郎「事務所の棚を帳場の前に」 若衆「はい！」 若衆達が事務所に向かう。	
22		達次郎「子供達を隠した本丸はどこに？」 堅太郎「二階の風呂場用の機械室の奥です。 防犯用の隠れ部屋があります。防火防爆で手榴弾を投げ込まれてもびくともしません」	
23		達次郎「よし、二階廊下階段前が最後の陣地だ。そこにも遮蔽物を」 堅太郎「風呂場の脱衣所の腰掛を重ねましよう」	
24		堅太郎が適当な若衆に声かけ。 堅太郎「風呂場の脱衣所の腰掛を二階廊下の階段前に」 若衆「はい！」 若衆達が風呂場に向かう。	
25		達次郎「妖賊や半妖人をただ斬っても倒すことができません。これを刃に塗って下さい」 達次郎が小さな薬壺を懐から取り出して堅太郎に渡す。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
26		堅太郎「これは？」 達次郎「神力で清めた塩を練り込んだ油です。間違っても自分の傷口に付けないようにして下さい。激痛でのた打ち回ります」 堅太郎「わかりました」	
27		達次郎「鯉の洗い、嬉しかったです」 達次郎が玄関に駆けていく。	
28		客間。東森の部屋。 東森が、床に並んだ大量の銃器の中から、自動拳銃2丁と散弾銃1丁、自動小銃1丁を手にとって携帯し、狙撃銃1丁を窓際に置く。	
29		東森が適当な若衆に声掛け。 東森「銃が沢山余ってます。お凜様から専用弾をもらっています。使って下さい」 若衆「はい！」 若衆達が大量の銃を運んでいく。	
30		調理場。 清子が調理台の包丁入れから小さな箱を取り出す。	




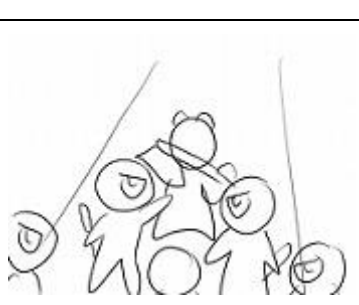
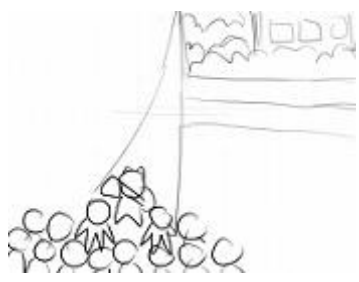
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
31		箱には「強く優しく美しいお母さんになるための、家庭を育み守る究極の秘伝、沈黙流護身料理教室 修了記念品 毛石雷白」と書いてある。	
32		清子が箱のふたを開ける。 箱の中には刃渡りの長い包丁が2本入っている。	
33		清子が包丁を取り出して握り、キレのいい手さばきで振り回す。	
34		清子「たけるを殺させはしない……」 鋭い眼光。	
35		玄関先。 盾代わりのテーブルが横倒しに置かれている。 お凜様と達次郎がそこに軽機関銃を設置し、自動小銃を立てかけ、手榴弾を積み上げる。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
36		お凜様「あやつら、いつ来るか。いつでも相手しちやる」	
37		牙吉が門の外から戻ってくる。	
38		牙吉が陣地に飛び込む。 お凜様「どうじゃった？」 牙吉「臭うぜ。薄汚え妖賊の臭いがプンプンしやがる」 お凜様が牙吉に自動小銃を渡す。	
39		飛丸が門の外から戻ってくる。	
40		飛丸が陣地に飛び込む。 お凜様「あやつらはどこに？」 飛丸「通りの先数分のところに集まってるでやんす」 お凜様が飛丸に自動小銃を渡す。	

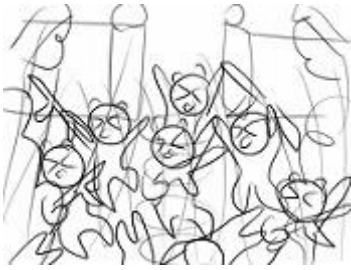




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
41		お凜様「ええか、十分に引き付けて、相手に仕掛けさせてから打って出るんじゃ。早まるな」 牙吉「おう」 飛丸「おう」	
42		門の外の通り。 熊男と脅征会組員の軍勢が入間屋一家に向かっていく。 大小刀剣と拳銃を持った組員が多いが、自動小銃や散弾銃を持つ組員もいる。	
43		熊男「俺の狙いはあくまでも鬼神童女とちびっ子達だ。入間屋一家とやらには興味がねえからよ、おめえらの好きにしま」 小谷田「ああ。この手で入間川を叩き斬ってやるぜ」	
44		金子「入間川の若え女房は俺に下さい。凄え別品だって噂ですぜ。やりがいがありますわ」 小谷田「おめえの嫁泥棒も懲りねえな」	
45		熊男と脅征会組員の軍勢が入間屋一家の門前までやって来る。 全員立ち止まる。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
46		熊男「正面から一気に攻めるぞ」 小谷田「よし、若え奴らに」 熊男「いや、玄関先になんか仕掛けているはずだ。手始めに俺の手下に行かせる」 小谷田「わかった」	
47		自動小銃を持った熊男の手下がわらわらと出現する。 熊男「かかれ！」 熊男の手下達が入間屋一家の門に駆けていく。	
48		入間屋一家。玄関先。 お凜様達が機関銃座に待機している。 お凜様が門の外をにらみ続ける。	
49		門の外から熊男の手下達が銃を乱射して突入してくる。 熊男の手下達「うおおおっ」	
50		お凜様「今じゃ！ やれ！」 銃撃の中、お凜様が機関銃を乱射する。 牙吉、飛丸、達次郎が自動小銃を乱射する。	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
51		熊男の手下達「ぐあああっ」 お凜様の機銃掃射で熊男の手下達がバタバタ倒れる。	
52		門の外。 熊男「やっぱり仕掛けていやがった！ まともに食らったら、おめえらなんてイチコロだぜ」 小谷田「俺達を馬鹿にしているのか？」 熊男「事実を言っているだけだ」	
53		玄関先。 次から次へと熊男の手下が突撃してくる。 機銃掃射でバタバタ倒れていく。 雄叫びと悲鳴が響き渡る。	
54		自動小銃を撃ち続ける牙吉、飛丸、達次郎。 機関銃を撃ち続けるお凜様。 牙吉「おい、切りがねえぞ！」 飛丸「このまま疲れさす気でやんすか？」 お凜様「わからん！」	
55		次から次へと熊男の手下が突撃してくる。 機銃掃射でバタバタ倒れていく。	

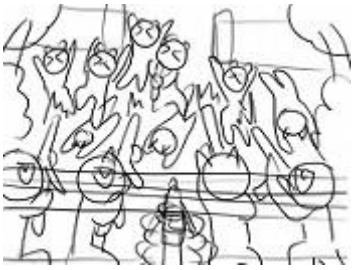
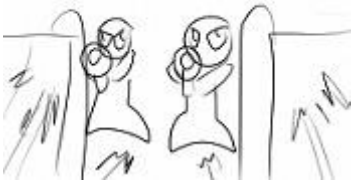
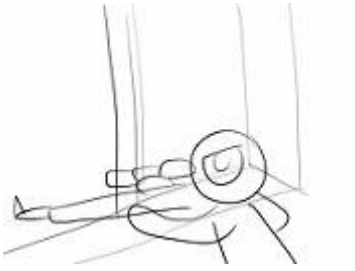


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
56		機関銃を撃ち続けるお凜様。 お凜様「このままの状態が続けばいずれそうなる！」	
57		次から次へと熊男の手下が突撃してくる。 機銃掃射でバタバタ倒れていく。	
58		機関銃が撃てなくなる。 お凜様「くそ！」 お凜様が自動小銃に持ち替える。	
59		お凜様「うおおおっ」 お凜様が自動小銃を乱射する。	
60		次から次へと熊男の手下が突撃してくる。 一斉射撃でバタバタ倒れていく。 新手の突撃が止む。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
61		お凜様、牙吉、飛丸、達次郎が自動小銃を構えたまま待機する。 飛丸「手下が全滅したでやんすか？」 牙吉「沢山倒しはしたけどな」	
62		門の外から脅征会の組員が携帯式榴弾砲を撃ち込んでくる。	
63		お凜様「伏せろ！」 お凜様、牙吉、飛丸、達次郎が物陰に伏せる。	
64		榴弾が陣地前の石畳に落ちて爆発する。	
65		次から次へと熊男の手下が突撃してくる。	

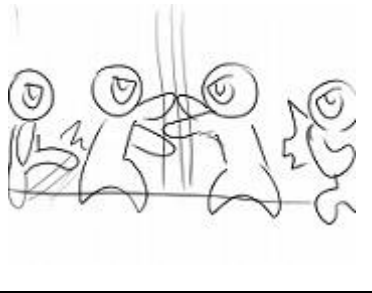


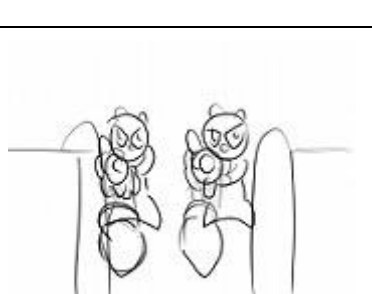

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
66		お凜様「うおおおっ」 お凜様、牙吉、飛丸、達次郎が身を起こして一斉射撃する。 熊男の手下達がバタバタ倒れていく。	
67		脅征会組員が携帯式榴弾砲を撃ち込もうと構える。	
68		客間。東森の部屋。 東森が窓から狙撃銃を構えている。	
69		照準が携帯式榴弾砲を持つ脅征会組員を狙っている。	
70		東森が狙撃銃を撃つ。	




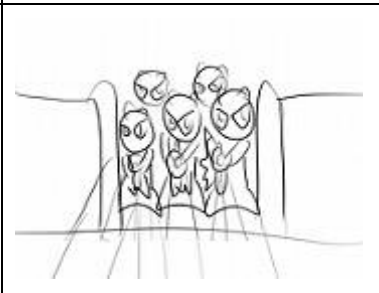

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
71		玄関先。 携帯式榴弾砲を持つ脅征会組員が倒れる。	
72		熊男の手下達が抜刀して斬り込んでくる。 熊男の手下達「うおおおっ」	
73		お凜様、牙吉、飛丸、達次郎が自動小銃を後ろに回して抜刀する。 お凜様「うおおおっ！」 お凜様達が斬り込んでいく。	
74		お凜様達と熊男の手下達の斬り合いになる。 刀と刀が激しくぶつかり合う。 熊男の手下達がバタバタと倒れていく。	
75		斬り合いの中、脅征会組員達が突入してくる。 お凜様には目もくれず玄関を破りに行く。	


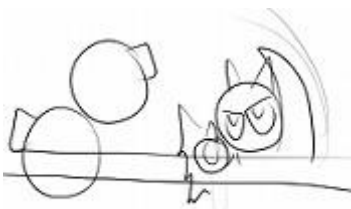



場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
76		脅征会組員達が玄関の嚴重な引戸をガチャガチャ開けようとするが、もちろん施錠されている。 体当たりしたり蹴ったりしてレールから外そうとする。 びくともしない。	
77		お凜様が妖賊の手下達を斬りつつ、身をひるがえして片手で自動小銃を持ち、引戸を壊そうとする脅征会組員達にぶっ放す。	
78		脅征会組員達「ぐああああっ」 脅征会組員達がバタバタ倒れる。	
79		門の外の熊男の手下が、落ちている携帯式榴弾砲を拾い、玄関の引戸を狙ってぶっ放す。	
80		榴弾が引戸に直撃して爆発する。 爆風でお凜様が吹っ飛ぶ。 お凜様「うわああっ」 引戸は破損していないが、衝撃でレールから外れる。	

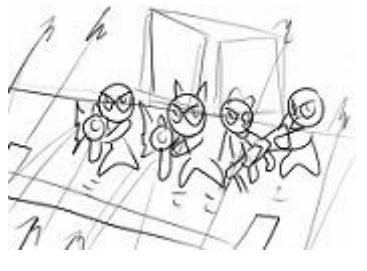




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
81		お凜様が地面に倒れる。	
82		熊男の手下達を斬り伏せつつ、 牙吉「姐さん！」 飛丸「姐さん！」	
83		牙吉と飛丸が、携帯式榴弾砲を撃った熊男の 手下に片手持ちで自動小銃をぶっ放す。 熊男の手下が倒れる。	
84		新たな熊男の手下達が門の外から自動小銃 を乱射してくる。	
85		牙吉、飛丸、達次郎がテーブル越しに自動小銃を 一斉射撃する。 お凜様が山積みの手榴弾のところまで這っていき、 何個か手に取る。	


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
86		熊男の手下達が自動小銃を乱射してくる。	
87		お凜様が手榴弾を門の方に投げ込む。	
88		手榴弾が爆発する。 熊男の手下達「ぐああああっ」 自動小銃を乱射していた熊男の手下達が吹っ飛ぶ。	
89		お凜様「引戸が外れおった！ 突っ込んでくるぞ！」 達次郎「玄関まで下がらしましょう！」	
90		熊男の手下達が自動小銃を乱射して突っ込んでくる。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
91		銃撃の中、お凜様達が自動小銃を乱射しながら、軽機関銃を運びつつ玄関に下がっていく。	
92		熊男の手下達がバタバタと倒れていくと同時に、新たな熊男の手下達が自動小銃を乱射しつつ抜刀して突っ込んでくる。 熊男の手下達「うおおおっ！」	
93		お凜様「うおおおっ！」 お凜様が軽機関銃をぶっ放す。 牙吉、飛丸、達次郎が自動小銃をぶっ放す。	
94		熊男の手下達が、バタバタと倒れながら、お凜様に斬りかかっている。 熊男の手下達「うおおおっ！」	
95		熊男の手下達の体当たり気味の斬撃で、お凜様が受太刀をするが、引戸ごと玄関に吹っ飛ばされる。	



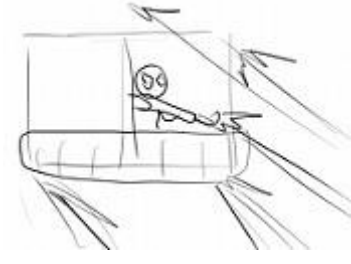


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
96		玄関。 お凜様が熊男の手下達と倒れるままもつれ合う。 お凜様「ぐぬぬぬ……」	
97		帳場。 陣地に堅太郎、清子、奥富、若衆達が待機していて、自動小銃を構えながらお凜様の様子を伺っている。 奥富「親分、撃ちましょう！」 堅太郎「お凜様に当たります！」	
98		玄関先。 牙吉、飛丸、達次郎が自動小銃を撃ち続ける。	
99		熊男の手下達がバタバタ倒れる中、熊男の手下が手榴弾を投げ込んでくる。	
100		牙吉「あっ」 飛丸「あっ」 達次郎「あっ」 手榴弾が飛んでくる。	





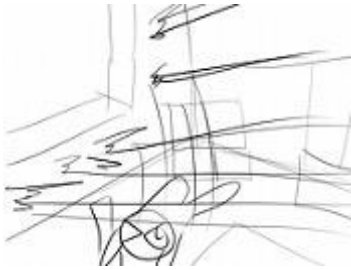
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
101		手榴弾が牙吉、飛丸、達次郎の目の前に転がり落ちる。	
102		投げ込まれた手榴弾が、積んだ手榴弾ごと大爆発する。 牙吉飛丸達次郎「うおおおっ」 牙吉、飛丸、達次郎が、とっさに植え込みを跳び越えて庭園に回避する。	
103		庭園。 爆発を背後に、牙吉、飛丸、達次郎が、鯉を飼っている池に落っこちる。 大きな水飛沫が上がる。	
104		自動小銃を持った熊男の手下達が池まで追いかけてくる。 池の中に一斉射撃する。	
105		熊男の手下の一人が二階の客間の方から狙撃されて倒れる。	

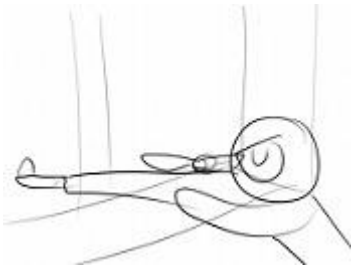




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
106		客間。東森の部屋。 東森が窓から少し身を乗り出し気味で、狙撃銃を連射する。	
107		庭園。 熊男の手下達が次々と狙撃されて倒れていく。 熊男の手下達が東森の部屋を狙って自動小銃を乱射する。	
108		東森の部屋の窓枠付近に次々着弾するが、東森には当たらず、東森が冷静に狙撃し返す。	
109		熊男の手下達がバタバタ倒れる。	
110		牙吉、飛丸、達次郎が池から上がろうとすると、東森の部屋が逆に狙撃される。 達次郎「刑事さん！」	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
111		門の外。 熊男が狙撃銃を構えて、東森の部屋を狙っている。 熊男「人間ごときが粋がりやがって。こっからだと丸見えだぜ！」	
112		照準器越しに東森の部屋の窓を狙う。 東森の体が隠れている。	
113		狙撃銃を構える熊男。 熊男「隠れてんじゃねえぞ卑怯者め」	
114		客間・東森の部屋。 東森が狙撃銃を持って窓の横の壁に張り付いている。 東森「向こうにも狙撃手がいやがった」	
115		東森の体のすぐ横や上の壁面に妖力弾が貫通する。 東森「うおっ」 東森が壁から離れて床に伏せる。 壁にいくつも妖力弾が貫通していく。 東森「なんつう威力だ！」	

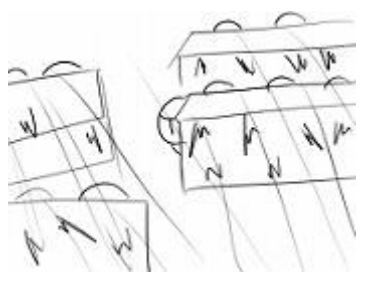
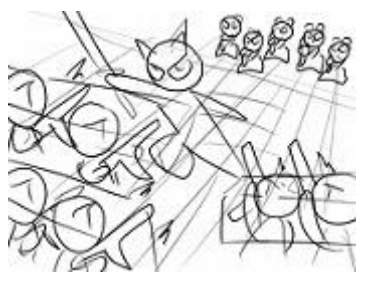
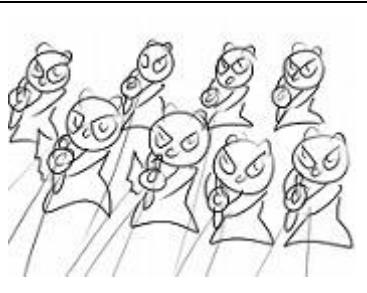
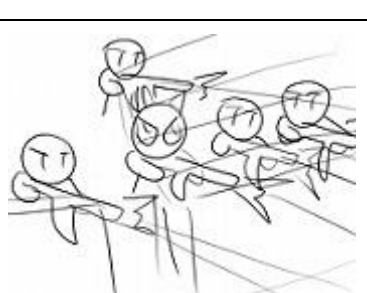

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
116		東森が窓まで這っていき、狙撃銃を構える。	
117		照準器越しに、門の外で狙撃銃を構える熊男が見える。 熊男も東森を狙っている。	
118		東森「熊男かっ！」	
119		門の外。 熊男が狙撃銃を撃つ。	
120		客間。東森の部屋。 東森の体のすぐ脇を妖力弾が貫く。 東森「わっ！」 東森がとっさに伏せる。 東森「窓に近付くとまずい……」	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
121		<p>玄関。                      お凜様が熊男の手下達と斬り合っている。                      堅太郎達が、自動小銃を構えながら様子を見ている。</p>	
122		<p>お凜様が熊男の手下達を叩き斬ると、すぐに外から一斉射撃を受ける。                      玄関の正面から見て奥の壁に無数の弾痕がついていく。                      お凜様が正面から見て手前の引戸がある壁の陰に隠れる。</p>	
123		<p>壁越しに、玄関先から熊男の手下が突っ込んでくるのが見える。                      お凜様が玄関先に手榴弾を投げ込む。                      手榴弾が爆発する。                      熊男の手下達「ぐあああっ」                      すぐさま、煙の奥から新手が銃撃してくる。</p>	
124		<p>お凜様「うおおおっ」                      お凜様が帳場の堅太郎達のいる陣地に駆けていく。</p>	
125		<p>熊男の手下達が玄関に侵入してきて、自動小銃をぶっ放してくる。</p>	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
126		銃弾の雨が、帳場に降りかかる。 堅太郎、清子、奥富、若衆達が遮蔽物の陰に伏せている。	
127		妖賊の手下達の一斉射撃を背に、お凜様が陣地に飛び込む。 堅太郎「お凜様！」 清子「お凜様！」 奥富「お凜様！」	
128		自動小銃を持った妖賊の手下達がどんどん侵入してくる。 一斉射撃の威力が増していく。	
129		お凜様「一斉射撃じゃあああ！」 一同「おおおおっ！」 お凜様、堅太郎、清子、奥富、若衆達が手持ちの銃をぶっ放す。	
130		熊男の手下達がバタバタと倒れていく。	




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
131		お凜様達が一斉射撃をやめる。 物静かになる。	
132		お凜様、堅太郎、清子、奥富が興奮して息が荒い。	
133		若衆達も興奮して息が荒い。	
134		堅太郎「皆、初めて実銃を撃ちました……」 清子「エアガンとは全然違う……」 お凜様「これがサバゲなら、どんだけ良かったか……」	
135		一階廊下。 突き当りの庭園への出入口前に、若衆が何人が待機している。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
136		扉越しに、外で牙吉と飛丸と達次郎が熊男の手下と斬り合っているのが見える。 若衆達が拳銃を手に身構える。	
137		庭園。 牙吉、飛丸、達次郎が、熊男の手下達を次々と斬り伏せていく。 そのまま、庭園への出入口に向かっていく。	
138		牙吉が出入口を叩く。 牙吉「おい、開けてくれ！」	
139		新卒の熊男の手下達が自動小銃を乱射しながら出入口に向かってくる。	
140		牙吉、飛丸、達次郎が自動小銃を乱射する。 出入口が開く。 牙吉、飛丸、達次郎が館内に入っていく。	


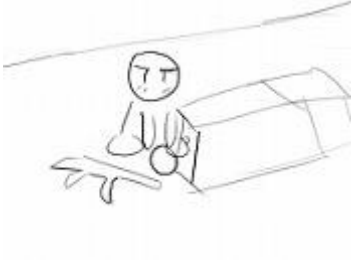


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
141		一階廊下。 牙吉、飛丸、達次郎が入ってくる。 牙吉が迫ってくる熊男の手下達に自動小銃をぶっ放し、出入口を閉めて施錠する。	
142		達次郎「ここは私が張り付きます。お二人はお凜さんのところへ！」 牙吉と飛丸が帳場の陣地に駆けていく。	
143		牙吉と飛丸がお凜様の横に飛び込む。 お凜様「無事じゃったか！」 牙吉「おう」 飛丸「おう」	
144		お凜様「おっかさん、霊泉酒を預けるで！ 後ろに下がって手負いのもんを一人でも多く救うんじゃ！」 お凜様が清子に瓢箪水筒を渡す。 清子「わかりました！」 清子が下がっていく。	
145		お凜様「熊男の軍門に下った脅征会共が突っ込んでくるで！ 本気で殺しに来るじゃろう。ためらうでないぞ」	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
146		堅太郎「皆、自分の命を第一に、いざという時は、私を置いて堂々と逃げて下さい！」 奥富「お、親分！ 何言って……」	
147		堅太郎「子供達をかくまった以上、私は最後まで戦う責任があります。けど、皆は違います。無駄死にだけはしないで下さい」	
148		奥富「自分は最後まで残りますよ！」	
149		堅太郎「ダメです。これは入間屋一家六代目としての命令です。従ってもらいます」	
150		奥富「わかりました……。いざという時は、逃げます……」 若衆達「逃げます……」 若衆達が泣きそうである。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
151		堅太郎「泣かないで下さい。まだ死んだって決まったわけじゃないんですから……」 堅太郎も泣きそうである。	
152		清子も後ろで泣きそうである。	
153		お凜様「ええ親分さんじゃな……」 お凜様が微笑んでそっと堅太郎の手を握る。	
154		堅太郎がきりっとした表情でお凜様を見つめる。 堅太郎「まだまだ未熟者です……」	
155		お凜様「わしが、皆を無駄死にさせはせん！」 お凜様が最前列で仁王立ちする。	



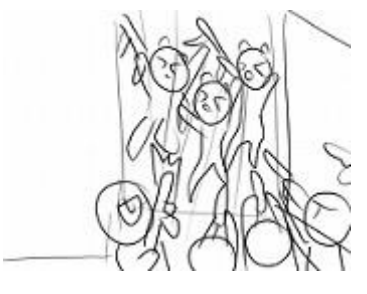


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
156		門の外。 熊男「直々に踏み込むぞ。楽しみながら殺すことを忘れるなよ」 熊男が狙撃銃から散弾銃に持ち替え、歩き出す。 小谷田と金子、脅征会組員達がついていく。	
157		玄関先。 熊男、小谷田、金子が立ち止まる。 熊男の手下達がわらわらと出現する。 熊男「玄関と庭園から一気に突っ込むんだ！」 熊男の手下達と脅征会組員達が突入する。	
158		玄関。 熊男の手下達が自動小銃をぶっ放しながら帳場の陣地に突っ込んでくる。 熊男の手下達「うおおおっ」 後ろに拳銃を持った脅征会組員達が追従してくる。	
159		お凜様「うおおおっ」 お凜様が自動小銃をぶっ放す。 牙吉、飛丸、堅太郎、奥富、若衆達も、各々銃をぶっ放す。	
160		熊男の手下達がバタバタと倒れていく。 それを盾にして、脅征会組員達が拳銃をぶっ放して突撃してくる。 脅征会組員達「うおおおっ」	





場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
161		お凜様達はひるまずに銃撃し続ける。 だが、後ろでは若衆達が敵の銃撃に当たって倒れる者がいる。 負傷した若衆達の悲鳴が上がる。	
162		脅征会組員達がバタバタと倒れつつ死に物狂いで突っ込んできて、あっという間に遮蔽物を乗り越えてくる。 脅征会組員が拳銃をぶっ放しながら、抜刀する。	
163		お凜様「うおおおっ」 牙吉「うおおおっ」 飛丸「うおおおっ」 お凜様、牙吉、飛丸が抜刀して、脅征会組員達と斬り合う。	
164		堅太郎と奥富が、自動小銃をぶっ放しながら、後ろに下がっていく。 若衆達も拳銃をぶっ放しながら下がっていく。	
165		銃撃が激しい中、清子が負傷した若衆のもとへと這い回り、霊泉酒で治癒していく。	



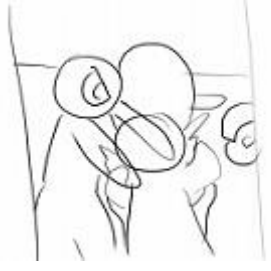

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
166		一階廊下。 庭園への出入口に熊男の手下達が押し寄せる。 ガラスを叩いたり蹴ったりして破ろうとする。 扉越しに、達次郎と若衆達が身構える。	
167		熊男の手下が銃を撃って鍵を破壊し、扉をこじ開けて、廊下に侵入する。	
168		達次郎が侵入した熊男の手下を自動小銃で撃ちまくる。 熊男の手下が吹っ飛んで倒れる。	
169		熊男の手下達が自動小銃をぶっ放して次々と侵入してくる。	
170		達次郎が自動小銃をぶっ放す。 後ろで若衆達が拳銃をぶっ放すが、熊男の手下達の銃撃で吹っ飛ぶ。 達次郎「くそっ」	


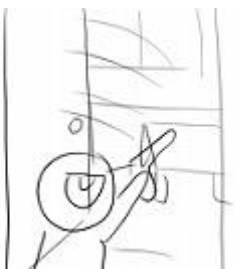

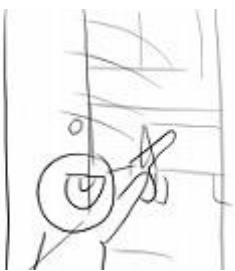

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
171		達次郎が、まだ息のある若衆を引きずって、便所に下がっていく。	
172		一階便所。 達次郎が負傷した若衆を引きずってきて、一番奥の個室に連れていく。	
173		達次郎「ここに隠れてて」 個室に若衆を残して、廊下に戻っていく。	
174		一階廊下。 脅征会組員達が庭園の出入口から侵入してくる。 脅征会組員達の大部分が廊下から帳場に向かっていく。 一部が二階と便所に向かっていく。	
175		一階便所。 達次郎と脅征会組員が鉢合わせになる。	

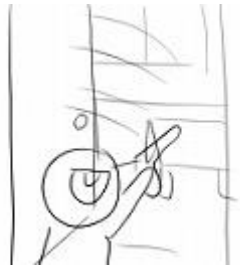

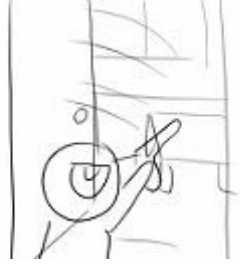
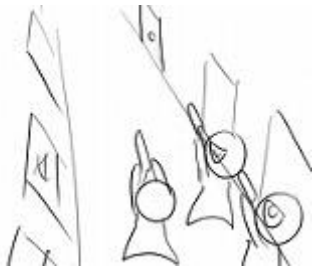

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
176		脅征会組員が拳銃を撃とうとする。 達次郎は脅征会組員の腕を取って、壁に打ち付ける。 そのまま取っ組み合いになり、便所の壁や流しや便器にぶつけながら格闘する。	
177		脅征会組員が短刀を抜いて達次郎に突き刺そうとしてくる。	
178		達次郎が短刀を奪って脅征会組員に突き刺す。	
179		達次郎が脅征会組員の頭を大便器に突っ込み、洗浄コックをひねる。 脅征会組員が流水でもがき、力尽きる。	
180		達次郎が便所から出ていく。	


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
181		二階廊下。 脅征会組員が遮蔽物を乗り越えてくる。 拳銃を構えながら廊下を進み、一番手前の客間の扉を開ける。	
182		脅征会組員が客間に拳銃を向けるが、誰もいない。	
183		脅征会組員が次の客間の扉を開ける。	
184		脅征会組員が客間に拳銃を向けるが、誰もいない。	
185		脅征会組員が次の客間の扉を開ける。	

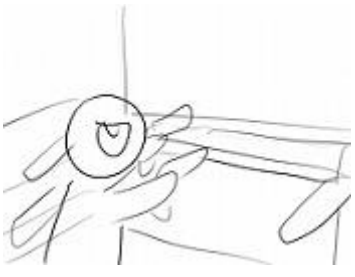



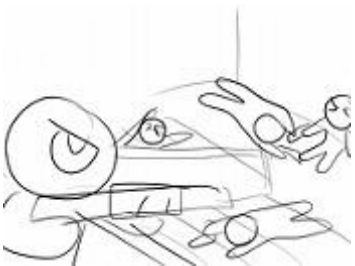
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
186		脅征会組員が客間に拳銃を向けるが、誰もいない。	
187		脅征会組員が次の客間の扉を開ける。	
188		脅征会組員が客間に拳銃を向けるが、誰もいない。	
189		脅征会組員が一番奥の客間の扉を開けに行く。	
190		一番奥の客間の扉が開き、自動拳銃二丁持ちの東森が出てくる。	


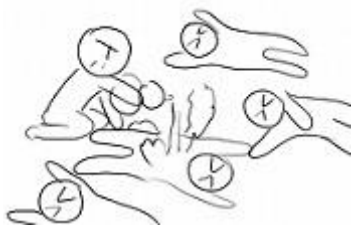

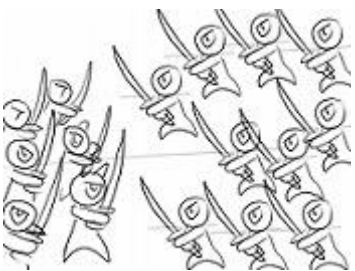

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
191		東森が二丁拳銃をぶっ放す。	
192		脅征会組員「ぐあああっ」 脅征会組員が吹っ飛ぶ。	
193		新たな脅征会組員が階段を上がってくる。 東森に拳銃をぶっ放す。	
194		東森が二丁拳銃をぶっ放す。	
195		脅征会組員「ぐあああっ」 脅征会組員が吹っ飛ぶ。	

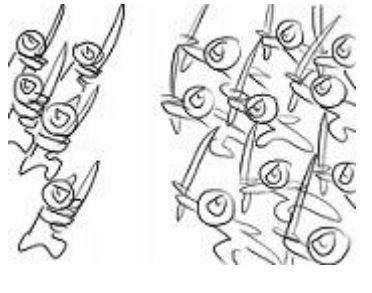
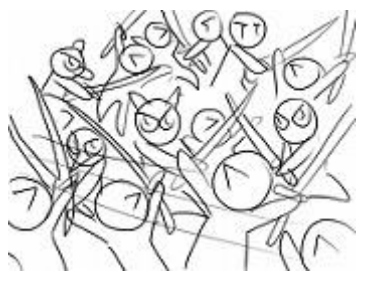
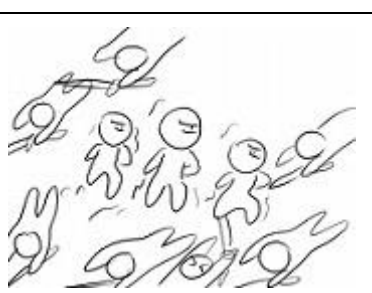
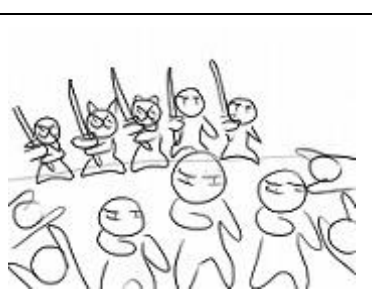
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
196		東森が階段上の陣地につく。	
197		脅征会組員が階段を駆け上がってくる。 東森に拳銃をぶっ放す。	
198		東森が二丁拳銃をぶっ放す。	
199		脅征会組員達「ぐあああっ」 脅征会組員がバタバタ倒れる。	
200		東森が散弾銃に持ち替える。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
201		<p>帳場前。                      お凜様、牙吉、飛丸、達次郎が、脅征会組員達と斬り合っている。                      その奥で、堅太郎、奥富、若衆達が脅征会組員達と斬り合っている。                      若衆達が次々と斬られていく。</p>	
202		<p>清子が負傷した若衆達を霊泉酒で治癒していく。                      清子の体中が血でべったりと汚れている。</p>	
203		<p>脅征会組員達がお凜様達に次々と斬られていく。                      脅征会組員達も残り 10 人になっている。</p>	
204		<p>脅征会組員達が疲弊して、間合いを取って動きを止める。                      お凜様達も疲弊して、間合いを取って動きを止める。</p>	
205		<p>若衆達がほとんど負傷していて、倒れこんで戦意を喪失している。</p>	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
206		脅征会組員達も殺傷されて大勢倒れている。	
207		脅征会組員達がお凜様達に一斉に斬りかかってくる。 脅征会組員達「うおおおっ」	
208		お凜様、牙吉、飛丸、達次郎、堅太郎、奥富が、脅征会組員達を斬り伏せる。 脅征会組員「うぐっ」 脅征会組員「ぐえっ」 脅征会組員達がバタバタと倒れていく。	
209		斬られた脅征会組員のうち、何人かが起き上がり、よろよろと逃げ出そうとする。	
210		お凜様がいつでも斬れる態勢で様子を見ている。	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
211		脅征会組員達がよろよろと玄関の方に逃げていくと、玄関から熊男と小谷田、金子が入ってくる。	
212		小谷田と金子が拳銃を抜いて、脅征会組員達にぶっ放す。	
213		脅征会組員達が撃たれまくって倒れる。	
214		小谷田「誰が逃げていいって言ったよ」 金子「死ぬ気でやれよ死ぬ気でよ」	
215		お凜様「熊男がゴキブリ共を従えて来おった」	


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
216		熊男、小谷田、金子がお凧様達の真正面に対峙する。 小谷田「ゴキブリじゃねえ」 金子「変な格好の小娘、可愛いからって調子に乗るんじゃねえぞ」	
217		お凧様「熊男め、ずいぶん回りくどいやり方をするのう。きさんだけで乗り込んだってええじゃろうに」	
218		熊男「俺が何をしても楽しもうが勝手だろうが。ゴキブリ共がどうなろうが知ったこっちゃねえが、おめえに恨みがあるもん同士、手を組んで暴れることにしたぜ」	
219		小谷田「おい、おめえが事務所を潰しやがった奴だな。俺達のムシヨ帰りの日にふざけた真似しやがって、ただで済むと思うなよ」 金子「ちょっと痛めつけて書面に一筆入れさせたくらいで懲りるなんてよ、読みが甘いんじゃねえのかい」	
220		お凧様「こん一家は堅気さんじゃぞ。事を大きくしとうなかつただけじゃ。合法の遊戯場営業と違法の賭博場営業、どっちが正当なのかもわからんのかい」	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
221		小谷田「遊戯場営業の件は、若え奴が勝手にやったことだ。俺には興味ねえ。だがな、事務所潰しをしやがったなら話は別だ。見逃せば面子に関わってくる」	
222		金子「突っ張ったことしねえで、黙って遊戯場を閉じてりゃよ、こんな目に遭わないで済んだだろうが。自業自得ってやつだぜ」	
223		お凜様「まるでこん一家が悪いみたいな言い方じゃな」 小谷田「そうじゃねえか」 金子「こっちはいい迷惑なんだよ」 お凜様「一家のもんの方がずっと迷惑じゃ」	
224		熊男「面倒臭え。どうせ皆殺しにするんだ。終わったことの言い合いなんかしてしようがねえ。一思いにスカッと恨み晴らしゃいいじゃねえか」	
225		堅太郎「悪いのは一方的にお前達だ。恨まれる覚えなどない」 奥富「そうだそうだ」	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
226		小谷田「黙れ。入間川、今日ここで斬り捨ててやるぜ。覚悟しろ」 小谷田が抜刀する。	
227		金子「おめえの若え女房は、俺がお持ち帰りしてやるぜ」 金子が抜刀する。	
228		堅太郎「俺だけならまだしも、清子さんに手を出すなら容赦はしないぞ」 奥富「俺だって許さねえ」 堅太郎と奥富が震えている。	
229		熊男「怖いのか？」	
230		堅太郎「ああ、怖いさ！ 泣きたいくらいにな！」	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
231		熊男「なら何故戦う？ 逃げちまえばいいじゃねえか。鬼神童女やその仲間達に任せてよ」	
232		堅太郎「これは、入間屋一家六代目としての、清子さんの夫としての、たけるの父としての、俺の戦いだ！ 怖くても退けねえんだ！」	
233		熊男「かっこいいぜ。だがな、そういうかっこよさはよ、身を滅ぼすぜ！」 熊男が散弾銃で奥富を撃つ。	
234		奥富「うぐああっ」 奥富が吹っ飛んで倒れる。	
235		その場の全員が唾然とする。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
236		小谷田と金子が奥富に追い撃ちで拳銃を乱射する。	
237		奥富が血まみれになってぐったりする。	
238		堅太郎「カシラあっ！」	
239		清子「カシラあっ！」 若衆達「カシラあっ！」	
240		お凜様「カシラさん！」 牙吉「カシラさん！」 飛丸「カシラさん！」 達次郎「カシラさん！」	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
241		二階廊下。 東森「カシラさん！」	
242		二階隠れ部屋。狭いが、空調や水道、便所、保存のきく食料飲料、湯沸かし器、布団などの最低限の環境は整っている。 たける、かんな、きりお、やすお、やすおの取り巻き達、他の子供達がいる。	
243		たける「ねえ、カシラって皆で叫んだよ！ 何が起きたのかな？」 かんな「わかんないよ……」 きりお「まさか……」	
244		たける「いや、お凜様がいるんだから、そんなことあるわけないよ……」	
245		やすお「でも、さっきからあれだけ凄い音がしてんだぜ。どう考えても銃撃戦だろ？」	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
246		きりお「僕達、助かるの？ 死んじゃうの？」 かな「いや、言わないで……」	
247		たける「お凜様を信じよう。変なことは考え ないで。奥富さんも大丈夫なはずだよ……。 信じないと……」 たけるが泣きそう。 かな、きりお、他の子供達も泣きそう。	
248		やすお「死にたくない。死にたくない……」 やすおと取り巻き達が震えている。	
249		一階帳場。 倒れた奥富がまったく動かない。	
250		堅太郎「カシラが、死んじゃった……」 堅太郎が呆然としている。	


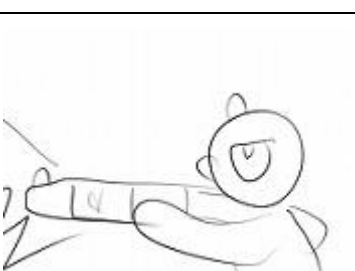
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
251		清子「治るんでしょ？ 治せるんでしょ？」 清子が泣きそう。	
252		お凜様「ひどい、ひどすぎる……」 お凜様が涙を流す。	
253		熊男「散々俺達の手下を殺しといて、大袈裟じゃねえか」	
254		堅太郎「六代目入間屋一家の若頭と、おめえらのようなクズ共と、同じ天秤で量れるとでも思っているのか……」	
255		熊男「この世は勝った方が正義だあああ！」 熊男が散弾銃をぶっ放す。	





場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
256		お凜様、牙吉、飛丸、達次郎が被弾して吹っ飛び、血まみれになって倒れる。	
257		熊男「殺せえええ！」 小谷田「うおおおっ」 金子「うおおおっ」 熊男と小谷田、金子が突っ込んでくる。	
258		堅太郎が後方に退いていく。 清子と若衆達をかばうように立つ。 堅太郎「逃げろ！」 清子「はい！」	
259		清子「さあ、立って！」 清子に促され、負傷した若衆達が立ち上がり、よろよろと調理場の方に逃げていく。	
260		小谷田と金子が堅太郎に斬りかかってくる。 小谷田「入間川ああ！」 金子「死ねええ！」	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
261		堅太郎が小谷田、金子と斬り合いになる。	
262		堅太郎が帳場から大広間の方へ下がっていく。 小谷田と金子がそれを追う。	
263		清子「早く！」 清子が、若衆達を調理場の方に誘導する。 若衆達が扉をくぐっていく。	
264		熊男が若衆達を狙って散弾銃をぶっ放す。	
265		若衆「ぐああっ」 逃げる若衆達の何人かが吹っ飛んで、壁に打ち付けられて倒れる。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
266		清子と無事な若衆達が、負傷した若衆を引きずって扉の向こうに運ぶ。 清子が扉を閉める。	
267		熊男が調理場への扉を開けようとガチャガチャする。 熊男「閉めんじゃねえ！」 熊男が扉をガンガン蹴る。	
268		調理場。 扉がガンガン蹴られている。 若衆達が奥の裏口への通路に向かう。 清子が負傷した若衆を霊泉酒で治癒しようとしゃがみ込む。	
269		負傷した若衆は、すでに事切れている。	
270		清子が、死亡した若衆に手を合わせて、奥の裏口の通路に向かう。	

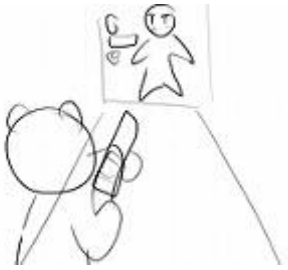




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
271		散弾銃を撃つ音がして、熊男が扉を破り、調理場に侵入する。	
272		熊男が裏口への通路に向かう。	
273		裏口への通路。 清子が後方を警戒しつつ、若衆達を裏口に導く。	
274		裏口。 清子と若衆が扉の前にやってくる。 清子が嚴重な扉の鍵を解き、扉を開ける。 清子「早く逃げて！」 若衆「姐さんは？」	
275		清子「子供と夫を置いて行けないわ！」	




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
276		若衆「俺達だけ逃げるなんて……」	
277		清子「逃げなさい！」	
278		若衆「これ、用心のために……」 若衆が清子に拳銃と刀を渡す。 清子「ありがとう」 清子が涙目で微笑む。	
279		若衆「失礼します！」 若衆達が外に逃げていく。	
280		清子が裏口の扉を厳重に閉める。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
281		熊男が裏口に迫ってくる。 熊男「獲物を逃がしやがったな！」 散弾銃を清子に向ける。	
282		清子が裏口の扉を背に追い詰められる。 清子「化け物め……」	
283		熊男「変な真似するなよ。頭が吹っ飛ぶぜ」 熊男が散弾銃の引き金に指をかける。	
284		熊男の背後から金子が現れる。 金子「おい、女は俺のもんだぜ」	
285		熊男「ちっ、くれてやらあ」 熊男が帳場への方へ去っていく。	



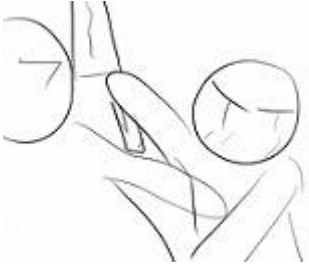

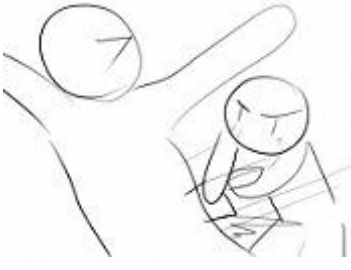
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
286		金子「入間川を斬るのはおやっさんだけで十分だ。野郎斬るより女ハメる方がいいぜえ」 金子が清子に迫っていく。	
287		清子「来ないで！」 清子が拳銃を構える。	
288		金子が拳銃と刀を捨てる。 金子「道具を捨てたぜ。おめえも捨てろよ。噂通りの別品じゃねえか。ハメさせてくれたら命は助けてやるからさ」	
289		清子が拳銃を構えたまま。	
290		金子「丸腰の奴を撃つってのか？ ご婦人のやることじゃねえよな？」 金子が迫ってくる。	





場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
291		清子「そうね……」 清子が拳銃と刀を捨てる。	
292		金子「素直じゃねえか」 金子が迫ってくる。	
293		清子「よく見たら男前ね。私を満足させてくれるなら乗り換えてもいいわよ」	
294		金子「立場がよく分かったようだな」 金子が迫りつつ、ズボンのチャックを下ろす。	
295		金子が清子に密着するくらいに迫る。 金子が股間をまさぐり、竿を出す。(画面外) 金子「なあ、触ってしごいてくれよ」	




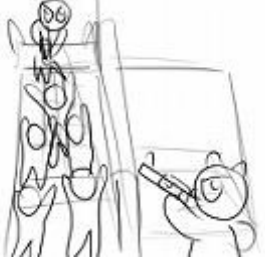
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
296		清子が金子の竿を触ってしごく。(画面外) 清子「固くて大きい……」 金子「ああ～、そうだ、もっと強く！」 清子「ええ」	
297		清子が全握力をかけて金子の竿を思い切り握る。 金子「あああああっ！」	
298		清子が腰に差していた包丁を抜く。	
299		清子が包丁で金子の竿を斬る。 金子「うぎゃあああっ！」 金子の絶叫。	
300		清子がすぐに包丁で金子の胴体を刺す。 金子「うぐっ！」	




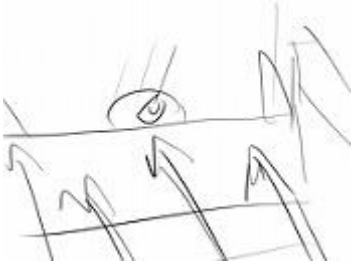

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
301		金子が血まみれで倒れる。 清子が興奮して息を荒げつつ、調理場の方に向かっていく。	
302		金子の手がピクピクと動き、起き上がろうとしている……。	
303		帳場。 熊男が、倒れているお凜様、牙吉、飛丸、達次郎を横目に見ながら、一階廊下に向かう。	
304		一階廊下。 熊男が階段で二階に向かう。 大広間では堅太郎と小谷田が斬り合っている。	
305		階段踊り場。 二階に東森が陣取っているのが見える。 東森が熊男に散弾銃を撃ち込んでくる。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
306		熊男が東森に散弾銃を撃ち返す。	
307		東森が遮蔽物に隠れる。	
308		熊男の手下がわらわらと出現する。 熊男「突っ込め！」 熊男の手下達「うおおおっ」 自動小銃を持った熊男の手下達が階段に突っ込んでいく。	
309		東森が散弾銃を撃ちまくる。	
310		熊男の手下達がバタバタ倒れる。	





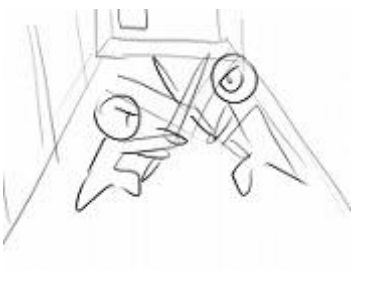
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
311		東森が熊男めがけて散弾銃を撃つ。	
312		熊男の散弾銃が弾け飛ぶ。 熊男「うおっ」	
313		熊男が拳銃を抜き、東森めがけて撃ちまくる。	
314		東森が遮蔽物に隠れる。	
315		熊男が、手下を呼び出しつつ、階段を駆け上がっていく。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
316		二階廊下。 熊男の手下達が、自動小銃を乱射しながら遮蔽物を乗り越えてくる。 東森が散弾銃をぶっ放す。 熊男の手下達が倒れていく。	
317		熊男が遮蔽物を乗り越えて、拳銃をぶっ放す。	
318		東森「ぐあっ！」 東森が被弾して倒れる。 撃たれた衝撃で散弾銃を投げ落とす。	
319		熊男「おめえだけずっと後方に陣取っていやがったな。なんでだ？」 熊男が東森に迫っていく。	
320		東森「理由なんかない！」 東森が熊男に拳銃を向ける。	



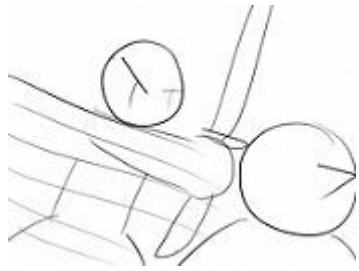

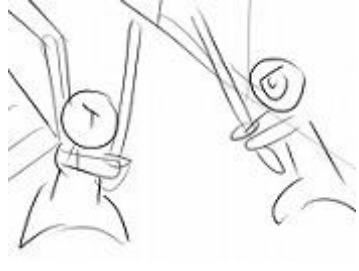
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
321		熊男が拳銃で東森を何度も撃つ。 東森「うぐああっ」	
322		東森が血まみれでぐったりする。	
323		熊男「なんでこいつだけ二階に……。ちびっ子が隠れていやがるな！」	
324		熊男が拳銃からまさかりに持ち替えて、子供達を探し始める。	
325		一階大広間。 堅太郎と小谷田が斬り合っている。	

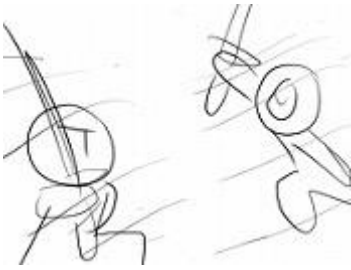
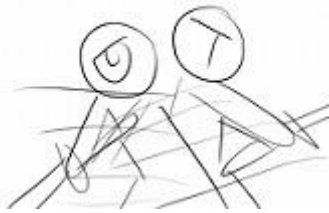



場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
326		小谷田「旅館の若旦那のくせに、しぶてえ野郎だ……」	
327		堅太郎「簡単に斬られてたまるかっ」	
328		小谷田が斬りかかってくる。 堅太郎が斬撃をぎりぎりですべて避けていき、大広間から廊下に退いていく。	
329		一階廊下。 堅太郎が階段を上がっていく。 小谷田が堅太郎を追って階段を上がっていく。	
330		階段。 小谷田が斬りかかり、堅太郎が受太刀して、押し合いになる。 堅太郎「ぐぬぬぬ」 小谷田「ぐぬぬぬ」	



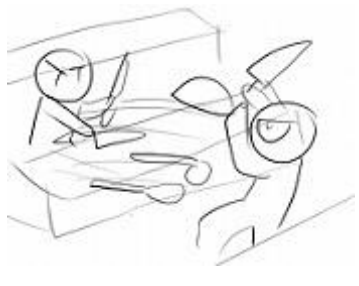
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
331		堅太郎が、小谷田を階段下に蹴り落とす。 小谷田「うわっ」	
332		一階廊下。 小谷田が階段下に転げ落ちる。	
333		堅太郎が小谷田を追いかけて、首根っこをつかんで引き起こし、刀の持ち手で殴打する。	
334		堅太郎が小谷田に斬りかかろうとすると、小谷田が堅太郎を思い切り蹴る。	
335		堅太郎と小谷田がお互い間合いを取り、刀を構える。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
336		堅太郎と小谷田が同時に斬りかかる。 堅太郎「うおおおっ」 小谷田「うおおおっ」	
337		堅太郎と小谷田の体が交差し、肉を斬る音がして、静止する。	
338		小谷田「ぐはっ」 小谷田の胴体に一文字の裂傷があり、倒れる。	
339		堅太郎「入間屋一家の、勝ちだ……」	
340		堅太郎がガクンと膝をつき、倒れる。 胴体に一文字の裂傷がある。	





場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
341		調理場。 血まみれの金子が清子に迫っている。 金子「竿斬られたらハメらんねえじゃねえか……」	
342		清子が包丁を二本持って構えている。	
343		金子が調理台の包丁入れから包丁を取り出し、構える。 金子「殺してやる……」	
344		金子が包丁をぶん回す。	
345		清子が包丁の斬撃を逃げ回って避けながら、調理道具を適当にぶん投げる。	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
346		金子がひるんだ隙に、清子が反撃で包丁を振り回す。	
347		金子が清子の包丁を避けつつ、包丁を振り回して受けていく。 キンキンと包丁がぶつかり合う。	
348		金子が清子の包丁を弾き飛ばす。	
349		丸腰になった清子に金子が包丁を斬りつける。	
350		清子が金子の腕を取り、投げ飛ばす。	





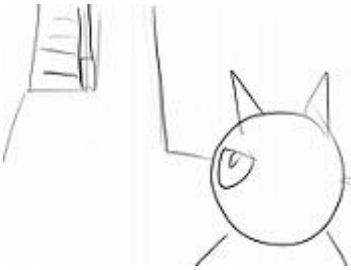
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
351		金子が起き上がろうとしたところを、清子が踏み込んで、素早い突きを胴体に何発も食らわせる。	
352		清子が金子に何発も膝蹴りを食らわせる。	
353		金子が倒れ込んだところに、清子が落とした包丁を拾い、背中から突き刺す。 金子「うぐあっ！」	
354		金子がぐったりする。	
355		清子「固くて大きけりやいいってもんじゃないのよ……」 清子が息を荒げている。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
356		帳場。 お凜様、牙吉、飛丸、達次郎が倒れている。 お凜様の手足がわずかに動き、ゆっくりと起き上がる。	
357		お凜様の目の前に、堅太郎と小谷田が倒れている。	
358		お凜様がよろよろと堅太郎に歩み寄り、様子を見る。 お凜様「おとっつあん……」 堅太郎に息がある。	
359		清子が調理場から堅太郎のもとに駆け寄る。 清子「堅太郎さん……」	
360		お凜様「息はある。まだ助かる」 清子「良かった……」 清子が霊泉酒を堅太郎の傷に振りかける。	


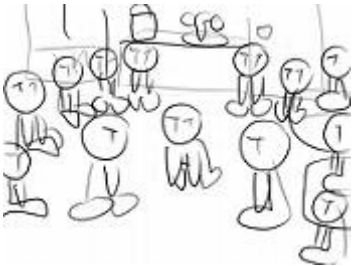
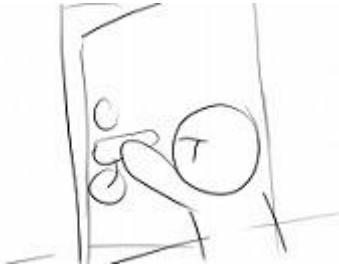


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
361		堅太郎の傷が治っていく。	
362		堅太郎の気が付く。 堅太郎の目に清子の顔が映る。 堅太郎「うう……」	
363		清子「お兄ちゃん！」 清子が堅太郎を抱き締める。	
364		お凜様が、堅太郎と清子を見て微笑み、真顔になって立ち上がる。 お凜様「子供達を守らんと……」 清子「お凜様！」 清子が瓢箪水筒をお凜様に渡す。	
365		お凜様が、鋭い眼光で階段の方を見据える。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
366		隠れ部屋。 壁越しに足音が聞こえてくる。 子供達が全員、息を飲んで沈黙している。	
367		壁をこんこん叩く音がしてくる。 段々音が近くなってきて、近くなると、叩く音が変わってくる。 叩く音が最も近くなる。	
368		壁の向こうからガタゴト荒っぽく何かをいじる音がしだす。	
369		お凩様の声「おい、わしじゃ。開けとくれ」	
370		たける「お凩様だ！」	

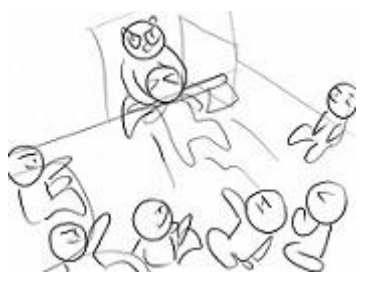


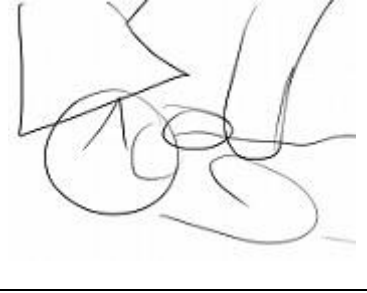

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
371		お凜様の声「もう終わった。大丈夫じゃよ。 開けとくれ」	
372		たける「やっぱりお凜様だ。開けよう」 子供達が首を縦に振る。	
373		たけるが隠し扉の鍵を解き、ゆっくりと開けていく。	
374		その時、扉の向こうから熊男が扉を掴み、強引に開け放つ。 熊男が隠れ部屋をのぞく。 熊男「ちびっ子共おおお」 たける「うわああっ！」 かな「きゃああっ！」	
375		熊男が隠れ部屋に侵入してくる。	


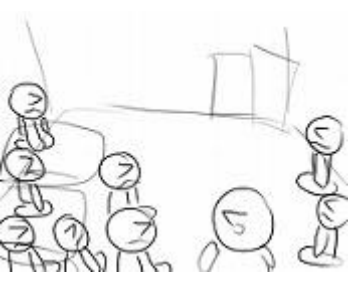
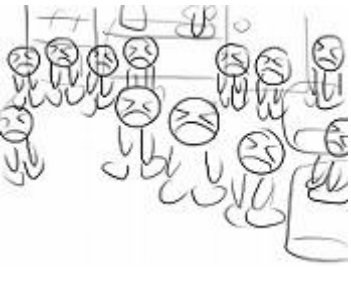
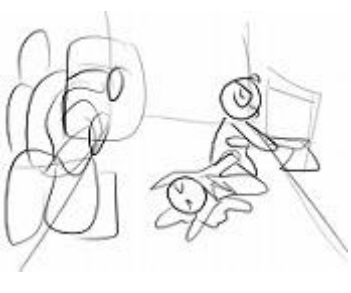

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
376		子供達が部屋の奥に下がって追いつめられ、 震え上がる。	
377		熊男「お楽しみの時間だぜ。俺のまさかりを 最初に味わいてえのは誰だ？」 熊男がまさかりの刃を子供達の眼前に向け る。	
378		熊男「おめえか？ おめえか？」 熊男のまさかりが代わる代わる子供達に向 けられる。 子供達は怯えて声も出ない。	
379		熊男のまさかりがやすおの前で止まる。 やすお「ひっ！」	
380		熊男「昼間のいじめっ子だな？」	


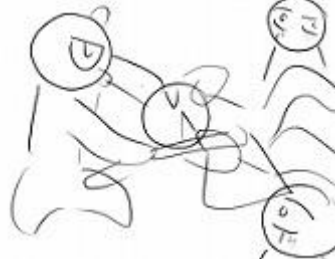


場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
381		熊男「おめえからバラしてやるぜ」 熊男がやすおの首根っこをつかんで、隠れ部屋の外に連れて行く。 やすお「嫌だっ、嫌だあっ！」 子供達「ああああっ……」 子供達がどよめく。	
382		機械室。 大浴場のボイラー等が設置されている。 熊男がやすおを隠れ部屋から引きずり出す。 やすお「嫌だあああっ！」	
383		熊男がやすおの体を足で踏んで押さえ、まさかりを向ける。 やすお「嫌だあああっ！」 熊男「ぎゃあぎゃあ騒ぐな！」	
384		やすお「助けてよおっ、他の奴らがどうなってもいいからあっ、俺だけは助けてえっ」	
385		熊男「それがおめえの本性だな？」	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
386		やすお「俺の父ちゃんお金持ちだからあつ、 お金沢山あげるように頼むからあつ、他の奴 らにしてえっ、俺だけは助けてえっ！」	
387		隠れ部屋。 たける、かんな、きりお、やすおの取り巻き 達、他の子供達が、強く拳を握りながら泣い ている。 鈍い音。 やすお「ぎゃあああつ！」	
388		ゴス、ゴスっと鈍い音。 たける達は何もできず声を上げて泣く。	
389		機械室。 熊男のまさかりが血まみれになっている。 やすおが血まみれでぐったりしている。 熊男「クズめ……」 熊男が隠れ部屋に向かう。	
390		隠れ部屋。 熊男が入ってくる。 熊男「次はどいつだ？」 血まみれのまさかりを見て、子供達が悲鳴を 上げる。	




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
391		たける「化け物め、この子達に手を出すな！」 たけるが泣いて怯えながら、両手を広げて子供達をかばう。	
392		熊男「勇ましいな。だが、おめえみてえなちびっ子に何ができるよ。バラしてやる」 熊男がたけるの首根っこをつかみ、引きずり出そうとする。 たける「うああああっ」	
393		たけるが引きずり出されていく。 何もできず泣きわめく子供達。	
394		機械室。 熊男が隠れ部屋からたけるを引きずり出す。 たける「うああああっ」	
395		熊男がたけるの体を足で踏んで押さえ、まさかりを向ける。 たける「うああああっ」	


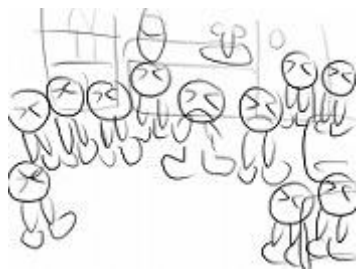



場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
396		熊男「俺のまさかりを味わえ！」 熊男がまさかりを振り上げる。	
397		たけるの悲鳴。 たける「うああああっ」	
398		その瞬間、熊男が銃撃を受ける。 熊男「うぐっ」	
399		機械室に駆けつけたお凜様が拳銃を乱射する。	
400		熊男が何発も銃撃を食らって吹っ飛んで倒れる。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
401		たける「お凜様！」	
402		お凜様「子供達に手は出させん！」	
403		熊男が起き上がる。 熊男「残念だったな。一人やっちまったぜ。 生きてても虫の息だ」	
404		お凜様「わしが治す！」	
405		熊男「これでもか？」 熊男が拳銃を抜いて、やすおの頭を撃つ。	






場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
406		たける「あ、ああああっ！」 たけるが悲鳴を上げて、後ずさりする。	
407		隠れ部屋。 かんな「きゃあああ！」 きりお等子供達「あああああ！」 子供達が悲鳴を上げる。	
408		機械室。 お凜様「この外道……」	
409		熊男「撃つなよ。撃てばこいつが吹っ飛ぶぜ」 熊男がたけるに拳銃を向ける。	
410		拳銃がたけるの頭を狙っている。 たける「お凜様……」	



場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
411		お凜様が拳銃を向けたまま動けないでいる。 お凜様「くっ……」	
412		隠れ部屋。 かな「たける君が死んじゃうよあ……」 かなが泣く脇で、きりおが部屋の棚をあさる。	
413		棚の中に護身用の短刀が一本入っている。	
414		きりおが短刀を手に取り、鞘を抜く。	
415		きりおが扉の方に向かう。 かな「きりお君、何するの……」 きりお「かなちゃんを悲しませたくないんだ！」 かな「やめて！ 死んじゃう！」 きりおが扉から飛び出ていく。	




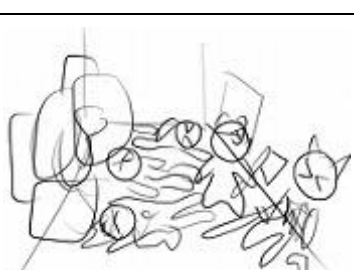
場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
416		機械室。 きりおが隠れ部屋から飛び出て、熊男に体当たりしていく。 きりお「うおおおっ！」 熊男「なにっ！」	
417		きりおが短刀を熊男の脇腹に突き刺す。 熊男「うぐっ」	
418		お凜様「き、きりお君！」	
419		熊男「このガキいいっ！」 熊男がきりおを引きはがし、拳銃で撃つ。 きりお「ぐあっ」 きりおが吹っ飛んで倒れる。 たける「うわああっ」 たけるの悲鳴。	
420		お凜様「このおおっ！」 お凜様が熊男に拳銃をぶっ放す。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
421		熊男「ぐあっ」 熊男が被弾して吹っ飛ぶ。	
422		お凜様「熊男おおっ！」 お凜様が熊男に斬りかかっている。	
423		熊男「うおおっ！」 熊男がお凜様に拳銃をぶっ放す。	
424		お凜様「ぐあっ」 お凜様が被弾して吹っ飛ぶ。	
425		熊男がお凜様をつかんで引き起こし、思い切り蹴り飛ばす。 お凜様「うぐっ」	




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
426		お凜様が壁に叩きつけられ、崩れる。	
427		熊男がまさかりを振り上げてお凜様に迫る。	
428		熊男がお凜様にまさかりを叩き込む。 お凜様「ぐあああっ！」	
429		お凜様がぐったりする。	
430		熊男が隠れ部屋の方に向かう。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
431		隠れ部屋。 熊男が入ってくる。 子供達が悲鳴を上げて部屋の隅に後ずさりする。	
432		熊男がかんな以外の子供達に向けて拳銃を乱射する。 子供達が被弾してバタバタと倒れる。 かんな「きゃああ！」	
433		熊男「小娘、持ち帰って楽しんでやる」 熊男がかんなの首根っこをつかんで引きずり出していく。 かんな「きゃああ！」	
434		機械室。 熊男が隠れ部屋からかんなを引きずり出してくる。 たける「かんなちゃん！」	
435		熊男がたけるに拳銃をぶっ放す。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
436		たける「ぐあっ」 たけるが被弾して倒れる。	
437		熊男「小娘だけじゃかわいそうだ。小僧共も一緒だ」 熊男の手下達がわらわらと現れる。	
438		熊男の手下達がたけるときりおの首根っこをつかんで引き起こす。	
439		熊男が、熊男の手下を二人だけ残し、かんな、たける、きりおを連れて機械室を出ていく。 熊男「他のちびっ子は片付けとけ」	
440		二階廊下。 熊男がかんな、たける、きりおを連れて大浴場に向かう。	

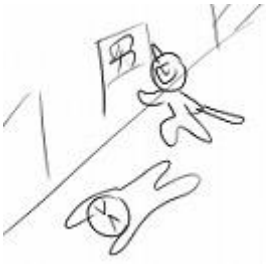




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
441		倒れていた東森の気が付き、力を振り絞って身を起こして、拳銃を構える。 東森「うおおおっ！」	
442		熊男が東森に拳銃を撃つ。	
443		東森「ぐあっ」 東森が被弾して倒れる。	
444		熊男が大浴場に入っていく。	
445		機械室。 熊男の手下達が、短刀を抜いて隠れ部屋に入っていく。	

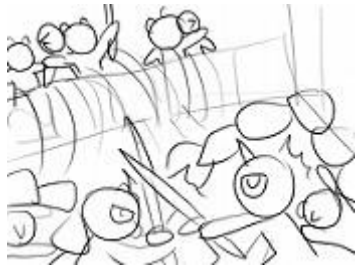




場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
446		隠れ部屋。 熊男の手下達が入ってきて、血まみれで倒れている子供達に短刀でとどめを刺そうとする。	
447		熊男の手下達の背後にお凜様が忍び寄り、短刀で突き刺す。 熊男の手下「ぐあっ」 熊男の手下「くえっ」 熊男の手下達が倒れる。	
448		機械室。 お凜様がよろよろと熊男の後を追っていく。	
449		二階廊下。 お凜様が廊下に出ると、倒れている東森に気付く。 お凜様「刑事さん！」 お凜様が東森に駆け寄る。	
450		お凜様が見る東森の様子を見る。 東森はまだ息がある。 東森「風呂場に……。早く……」 東森が気を失う。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
451		お凜様が風呂場に向かっていく。	
452		大浴場。 熊男が外風呂に向かっていき、転落防止用の柵の前に立つ。	
453		お凜様が外風呂に駆けつける。 お凜様「その子達を返せ！」 熊男「返せと言われて返すかよ！」	
454		熊男の手下がわらわらと現れて、抜刀してお凜様に斬りかかってくる。 熊男の手下達「うおおおっ」	
455		お凜様が熊男の手下と斬り合う。	

場面：総攻撃

番号	画面	内容・台詞	時間
456		お凜様と熊男の手下達が斬り合っている隙に、熊男がかんな、たける、きりおを抱えて、外に飛び降りて脱出する。	
457		お凜様が熊男の手下達を斬り伏せ、柵に駆け寄って外を見下ろす。 熊男の姿はない。 お凜様「たける君、きりお君、かんなちゃん……、くそおっ！」	
458		お凜様が力なくへたばる。 牙吉、飛丸、達次郎がよろよろとやってくる。 牙吉「姐さん……」 飛丸「姐さん……」 達次郎「お凜さん……」 決まり悪そうにお凜様に頭を下げる。	
459		堅太郎と清子が泣きそうな顔でやってくる。 堅太郎「お凜様……」 清子「お凜様……」	
460		お凜様が、涙を流して、堅太郎と清子を見る。 お凜様「子供達を、守り切れんかった……」 お凜様が、力を使い果たして、倒れる。	